

Kruger's Strict Criteria の値におけるART 成績について

大泉News Paper No.57 (2011. 9.1)

Kruger's Strict Criteria とは、精子を染色して通常の精液検査よりも厳密に正常形態率を調べる検査です。

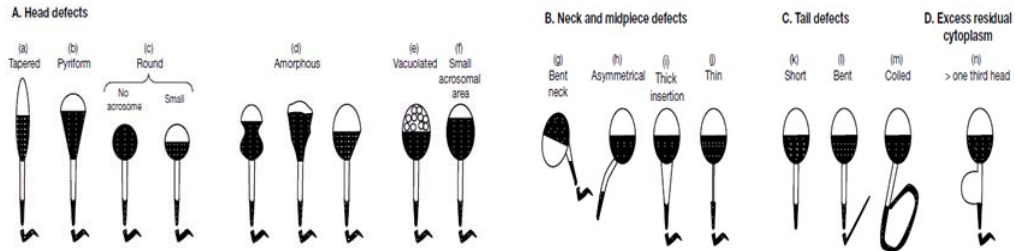
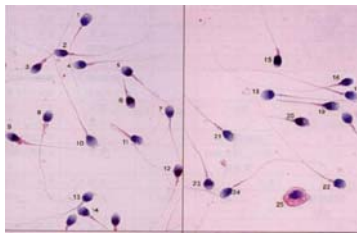
当クリニックでは**体外受精を行う患者様を対象**に行っており、**媒精方法を選択する上での参考項目の一つ**としています。

一般にこの検査では、**4%以上が正常範囲**であると言われており、4%未満の患者様には通常の体外受精よりも顕微授精をお勧めしております。

方法としては、体外受精用に処理した精子の一部をスライドガラスの上に塗末し、Diff-Quik迅速染色キットを用いて精子を染色します。左下の写真は染色後の精子の様子です。染色された精子を、通常の精液検査よりもさらに拡大して観察し、一つ一つの精子の形態を評価します。この評価の方法は Thinus Kruger 博士による精子の形態分類法に従って行います。下の図は Kruger 博士により分類された異常形態図です。

S.C.の値は、染色した200個の精子を観察し、その内の奇形精子の割合(以下の式)で表します。

$$\text{S.C.の値(\%)} = (\text{正常形態精子の個数} \div \text{観察した精子の総数}) \times 100$$



① この検査で4%未満と言われたが、妊娠する可能性はあるの??

Strict Criteria (S.C.)の値が4%未満の場合、通常の体外受精では受精が起こりにくいと考えられています。しかし顕微授精を行えば、十分な受精率が期待できます。

当クリニックにおいて、S.C. 4%未満であった患者様のうち25%の方はご妊娠されております。

② S.C. 4%未満でも、通常の体外受精は行えるの??

患者様の強いご希望があれば、体外受精も行うことはできます。ただし、4%以上の場合と比べ通常の体外受精における受精率がかなり低くなります。(左下:ピンクのグラフ参照)

※ ただし通常の体外授精の場合、S.C.の値に関わらず、受精障害のため受精率が著しく低くなる可能性があります。

③ S.C. 4%台だと、顕微授精も行った方が良いの??

4%以上の値であれば、S.C.の値による受精率の差はほとんど認められません。ですので「この値が正常範囲内だけどやや低め」ということだけで、顕微授精を選ばなければならないという事ではありません。(右下:黄色のグラフ参照)

実際、5%未満4%以上(4%台)の場合と5%以上の場合での、通常体外授精の受精率はほとんど変わりません。

